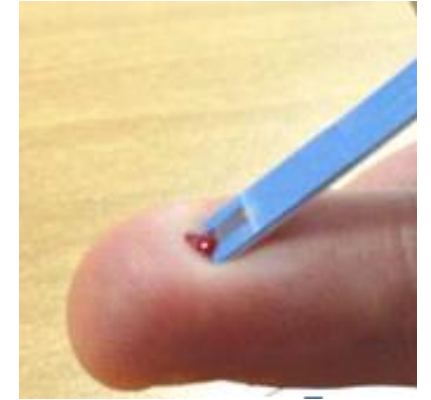


宮崎市歯科健診における 血糖測定を集計結果報告



○櫛山実寿¹⁾、中村舞¹⁾、杉尾江美¹⁾、成松久美子²⁾、谷川紀子²⁾、
久保田晴美²⁾、藤村敬子²⁾、横山あずさ²⁾、谷口尚大郎³⁾

宮崎市郡歯科医師会¹⁾、宮崎市歯科保健推進協議会²⁾、宮崎県健康づくり協会³⁾

【要 旨】

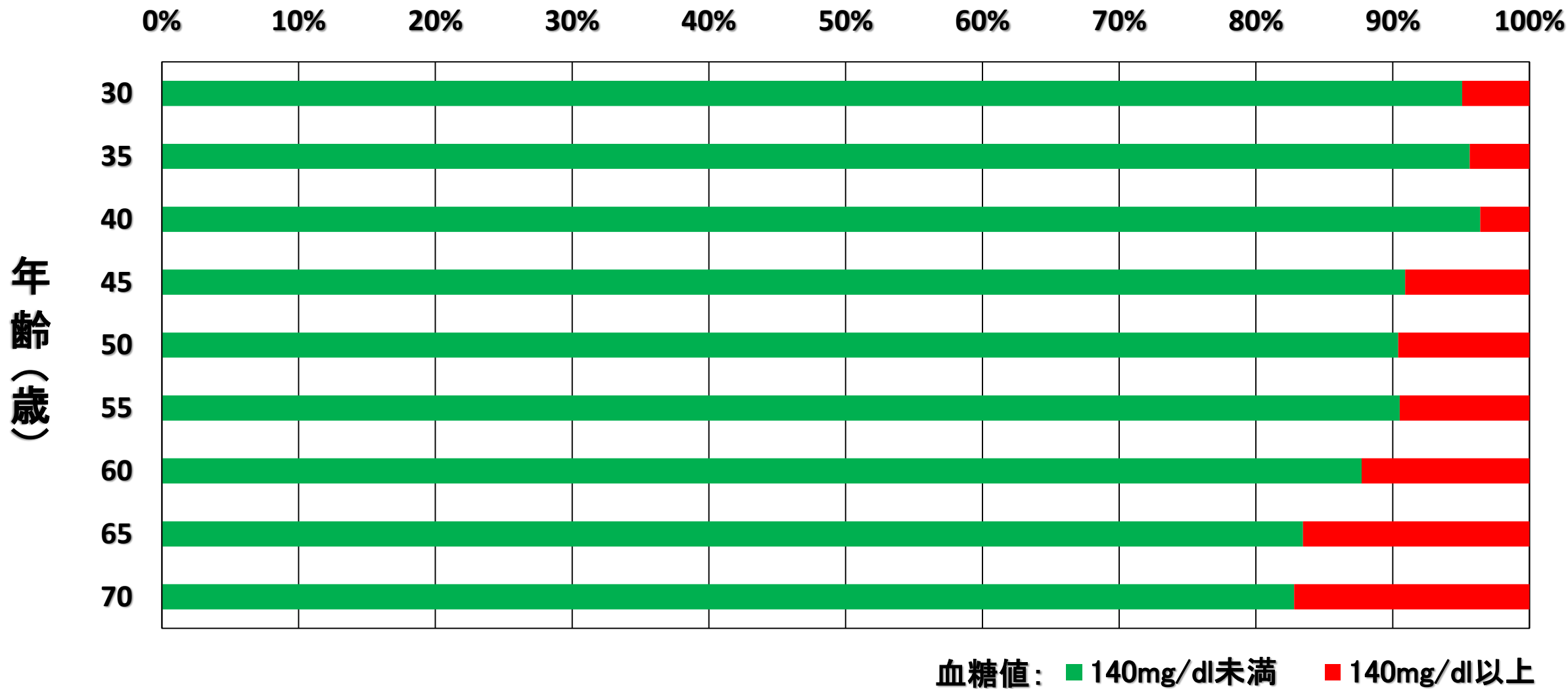
宮崎市では、宮崎市郡歯科医師会への委託事業として平成20年度から30歳から70歳までの市民を対象に5年ごとの歯科健診を実施している。

さらに平成28年度から希望者に歯科健診受診時の血糖測定を開始した。

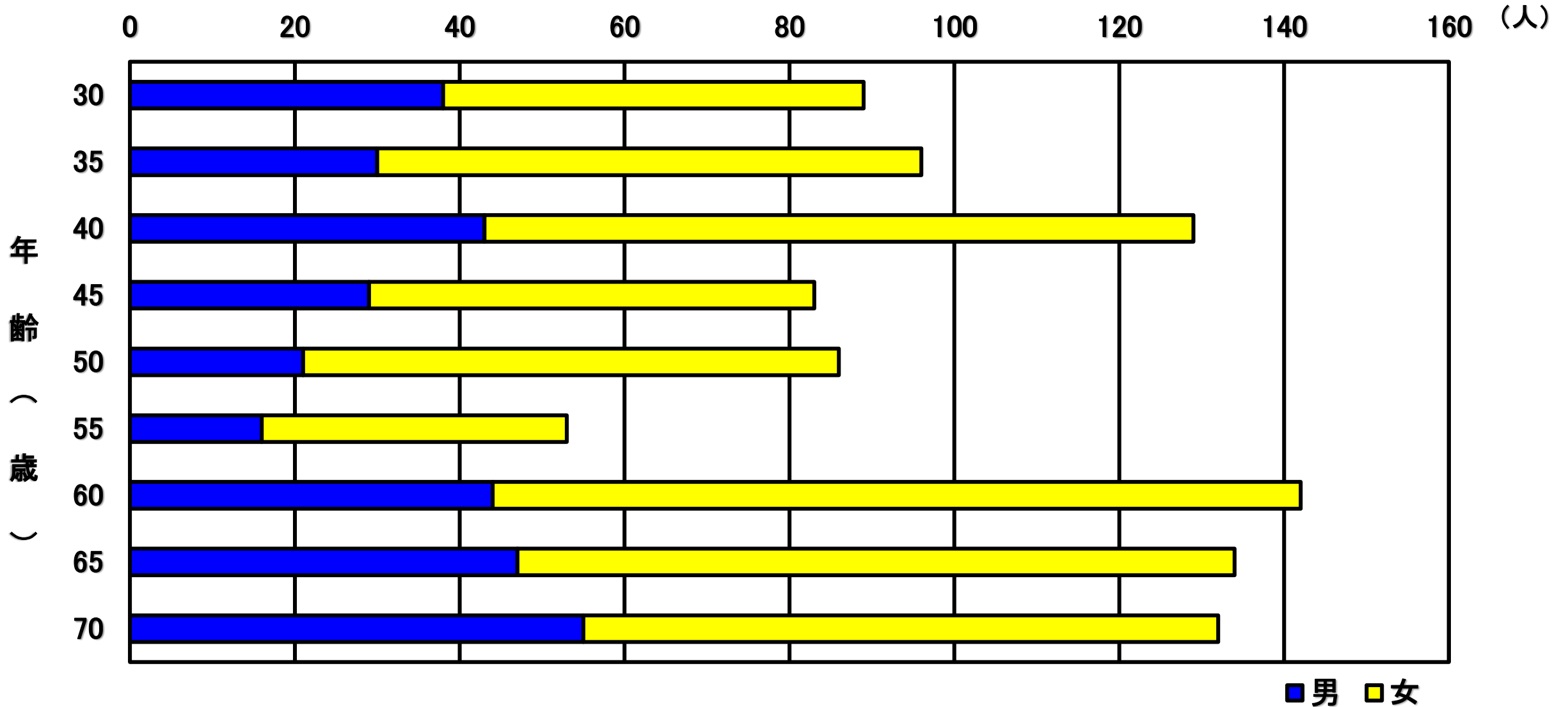
今回2ヶ年分の集計及び検証を行ったので報告する。

血糖値の年齢別割合

血糖測定を行った3,144人(全員)

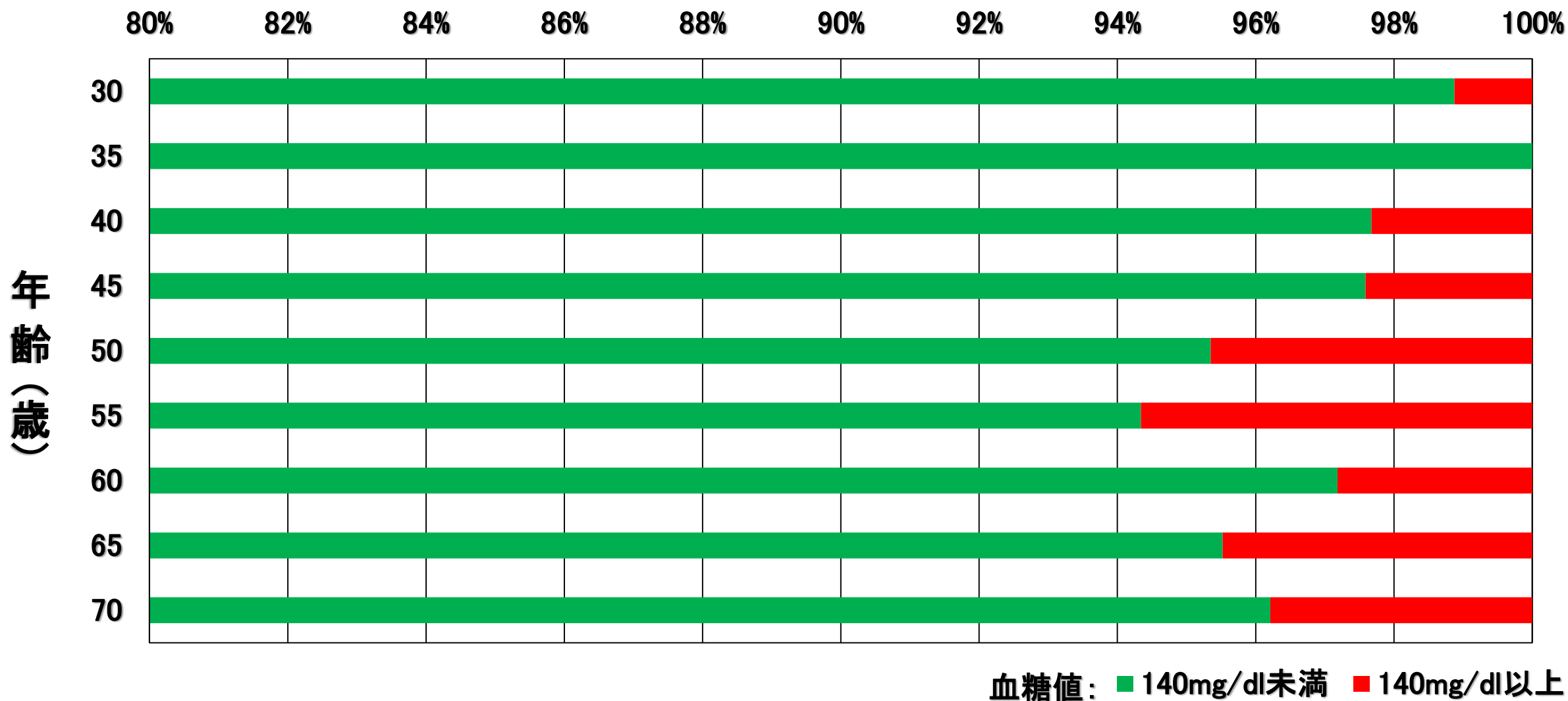


分析対象者の年齢別・性別人数



血糖値の年齢別割合

分析対象者: 944人



多変量ロジスティック回帰分析結果

	有意確率	オッズ比(95%信頼区間)
年齢	0.019	1.040(1.007-1.074)
要補綴歯数	0.045	1.158(1.003-1.337)



要補綴の部位

(性別、喫煙習慣、1日の歯磨き回数、
補助具の使用、歯周ポケットで調整)

【結果 及び 考察】

性別や喫煙習慣などの影響を考慮した上でも、**年齢**や**要補綴歯数**が増えるほど血糖値が140mg/dl以上である割合が有意に高まることが認められた。



歯を失った状態を放置していることで、摂取する栄養素が炭水化物等の**咀嚼しやすい種類に偏る**ために血糖値が上昇する可能性がある。